

# 「サプリメントと健康： サプリ的使用としてのオキシトシン」

日 時：平成 25 年 4 月 11 日 (木)

午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで

場 所：石川県政記念 **しいのき迎賓館** ガーデンルーム  
金沢市広坂 2 丁目 1 番 1 号

連絡先：電話またはメールで、下記のあて先にご連絡ください。

(当日直接参加も可)

TEL：076-265-2458 [奥野] FAX：076-234-4236

E-Mail：brainsci@med.kanazawa-u.ac.jp

定 員：100 名程度

参加費：無料

コーヒーを飲みながら、  
お気軽にご参加頂けます。



サプリメントは劇的に病気を治したり、  
体調を改善させるものではなく、未病予防、健康維持のために、じわじわとその良さを実感するものです。まず色々なサ  
プリメントについての選び方や経験に基づいた使用法についてお話します。

次にオキシトシンが広汎性発達障害(自閉症)の社会性における障害部分を改善するのではないか、という科学的根拠  
に基づいた話もします。オキシトシンをサプリメント的に使用することによって、さまざまな可能性があることが、ここ  
数年の研究によって明らかになっています。

それらの研究成果を紹介しながら、最後に演者自身のオキシトシン点鼻薬のサプリメント的使用についてお話します。



## ゲスト講師：宇山 恵子 (うやま けいこ)

京都府立医科大学特任教授、東京医科歯科大学非常勤講師。大学卒業後、新聞社、広告会社で医療・美容・ダイエットなどの取材を担当。英語とフランス語を生かし、海外アンチエイジング情報の翻訳、取材も行う。現在は医療・美容ジャーナリスト、ヨガインストラクター、書道講師、メノポーズカウンセラーの視点からもアンチエイジング情報を発信中。

## ゲスト講師：棟居 俊夫 (むねすえ としお)

金沢大学子どものこころの発達研究センター特任教授。長年、自閉症の診療に携わってきましたが、かえすがえす不思議な病気だと思っています。金沢大学医学部を卒業し、精神科医となった。

## コーディネーター：東田 陽博 (ひがしだ はるひろ)

金沢大学子どものこころの発達研究センター相互認識機能研究基礎部門 特任教授、大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科(金沢校)、こころの相互認知科学講座(社会神経科学研究領域)教授、日本学術会議連携会員。

